

ハ乙女

編集 南山見公民館
発行

平成12年1月20日発行

No. 66

富山県東砺波郡井波町川原崎
TEL (0763) 82-5176

子の写真のせし賀状に親しめり
林 外吉



新成人のみなさん

二〇〇〇年とやま国体の年を迎えて

南山見地区町内会会長

滝田 栄三

新年明けましておめでとうございます。

おだやかな平成十二年の元旦を、ご家族おそろいでお迎えにられましたことと、心よりおよろび申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、凶悪事件や、宗教問題、学校教育、家庭教育、社会教育に関する事件や事故があとをたたず、毎日のように新聞紙上やテレビなどで報道された一年であつたように思います。平成十二年こそは、華やかで明るく、幸多い年になることを、皆様とともに祈りましょう。

さて今年は、二〇〇〇年国体の年です。当町では、成年女子バスケットボール競技が開催され、南山見地区でも、東部と西部で各一チームの民泊のお世話をし、食事、応援などに地区の皆様と協力し、国体を盛り上げ、選手の皆さんが力いっぱい競技できるようにしていきたいと思っております。

また選手の皆さんと親しく懇談し、今後の交流につながるならば、地域の活性化にもつながるのでは、と考えております。地区あげて成功させましょう。

辰年の 新春を迎えて



町のポランティアに参加して

岩崎 志織

(昭和六十二年生)



おばあちゃんと井波町のみさんと、ポランティアのオリエンテーリングに

参加しました。マーシ園の人達に車いすに乗ってもらい私も少し車いすを押ししました。けれども初めてなので、なかなか私の思うような所に行ってくれなかったのです、こわかったです。大人の人間にかわってもらって、私は「けがもなくよかったですな」と

思いました。これからも、ポランティアに参加して、いろいろなことを学びたいです。とくに、手話をやってみたいです。

行動を起こす

篠原 純也

(昭和五十一年生)



三回目の辰年が、西暦二千年という記念すべき年となり、新たに何を目標に

とは思いますが、何もしないよりまず行動を起こし、一つ一つ自分の実となり、知となる成長を竹の節のように意味のある一年としたい。また仕事柄、親の言っている意味が何となく分かるようになってきた。責任ある行動を心掛けたい。

たつ年を迎えて

山本 講平

(昭和五十一年生)

社会人となって、今年で二年目を迎えるようとしています。

昨年は、学生気分のまま社会に押し出された感じで、学生と社会人の差を実感させられた年でした。



今年は一〇〇〇年ということから出発する気持ちを持ちたい。早く仕事に慣れることも大切ですが、資格取得を目指すなど、高いレベルに挑戦していきたいと思っています。

また、家庭においても二人の息子の良き父親となるよう人間的にも成長していきたいと思っています。

新しい年を迎えて

朝倉 幸博

(昭和三十九年生)



本年は、二〇〇〇年ミレニアムイヤー。自分にとっては、辰年の年男と二重の節目を感じています。

この節目の年に、昨年がどうのこうのと考えるより、今年からは自分自身、物事を前向きに考えるよう努力し、社会の一員としては、今まで与えてくださったことを熟していくポジジョンから、自分達のこれから情報は物事をしっかりと観て考え、指導をいただきながら、何かを与え

ていけるような、そんな自分になれるよう頑張っていきたいと思っています。

御恩返し

山本 武夫

(昭和二十七年生)



自分の干支が回ってきたと知って、確か還暦ではないはずと首をかしげ、ああ、

この次がそうかと自覚している世代の一人です。人生も半ばを過ぎ、今までは頂くことが多かった道も、これからはお返しをすることが多い道になろうとしています。家族や地域社会によつて育てられ、今日の自分があります。今「ライフワークを」「フツ素によるむし歯予防」と位置付け、日本中の仲間と活動をしています。世界では、水道水フツ素添加などにより、むし歯は過去の病気となりつつあります。昨年の韓国視察は、歯科医としての自分の人生の大きな転機となりました。自分が世の中に御恩返しをするとしたら、これしかありません。水道水にフツ素添加をし、むし歯のない世の中にしたいです。

辰年に思う

須川登喜雄

(昭和二十七年生)



我が家では、私を含め、辰年生まれが三人います。二〇〇〇年の辰にあやかりたいものです。

地域があつて家族があり、人と人とのつながりの心を大切にしていきたいと思ひます。

そして、最近特に世の中の変化のスピードが早いと感ひます。変化にながされることなく、仕事や地域の活動をしていきたいと思ひています。

新しい出会いを大切に

前田恵美子

(昭和二十七年生)



記念すべき二〇〇〇年に、私は五回目の辰年を迎えました。そして社会人と

なつて三〇年を迎えることとなり、私にとつては節目の年になりそうです。昨年は婦人会活動の中で色々と貴重な体験をさせていただきました。また、長い間井波町に住んでいなが

ら知らないことがたくさんあり、反省もさせられました。今年には富山国体の年。新しい出会いを大切に、健康を第一に回りの人々に感謝しながら一度しかない人生を歩んでいきたいと思ひます。

還暦に思うこと

原田米治

(昭和十五年生)



輝かしい新年二〇〇〇年の節目の年に六回目の「辰」年を迎えられることは、

大変嬉しく思ひます。振り返つて見ますと、地区の皆様にも色々お助けられ、教えられてきたことが思ひ出され感謝しております。赤い胴着を着ると子供に還ると昔から云われてきました。この歳になつても実感が湧きませんが、これからは身体に気をつけて、軽スポーツなどをして人と人との和を大切にしていきたいのです。

感謝の気持ち

林信子

(昭和三年生)

月日の経つのは早いものです。私



も七度目の辰年の初春を迎えることが出来ました。私の若い頃は地区の耕地整理の真最中で、

田直しの為にトロッコを押す重労働が十年以上も続けられ、私も一生懸命働きました。現在の立派な大きい田圃と比較すると感無量です。また、私の身体には三回もメスが入りましたが、お陰様で今まで長生きすることが出来ました。これからは無理をせず、家族や周りの皆様に支えられて、常に感謝の気持ちを忘れずに過ごしたいものと思ひております。

一日一日を大切に

高瀬浄泉

(大正五年生)



私は小学校時代、同級生の中で一番弱い子供でした。その私を命がけで育て

て下さつた母(御仏。父)の大慈悲心によつて、今日まで長生きすることが出来たのだと思ひております。仏教に四恩という言葉があります。その中に「衆生の恩」が説かれてお

ります。人は一人で生きていくことは出来ません。私も今日まで出逢わせて頂いた多くの人々(衆生)の力によつて、八十五才まで生かさせて頂いたのです。これからは、与えられた一日一日を大切に、感謝の心を忘れずに歩みたいと思ひております。

お陰様で

前川きくい

(大正五年生)



お陰様で、元気に辰年を迎えることが出来ましたことを、感謝しております。

全てのこと急速に便利になり、豊かになり、そんな中で畑の作物は、手をかけたらかけた分だけ答えてくれます。今年も少しばかりの野菜と花の成長を楽しみに過ごしたいと思ひます。また、ミニ託老所へのお誘いも楽しみの一つです。お寺参りも心のよりどころとなっております。まわりの方々に助けられ、一日一日を大切に過ごしたいと思ひます。



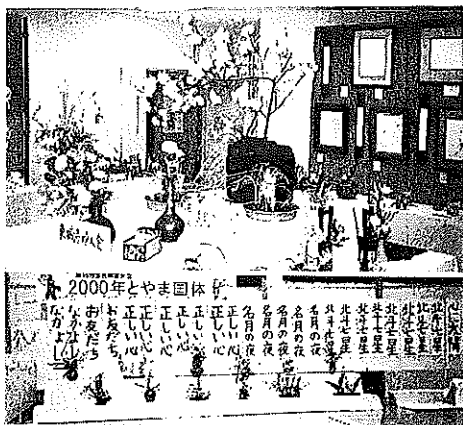
第22回

地区文化祭

文化祭当日は、この季節にしては大変暖かい陽気となり、とてもよい一日でした。

館内に入れば、地区の方々が一生けんめい作られた立派な農作物や作品が展示してあり、見入ってしまいました。

ステージ発表では、かわいらしい園児や各地区の児童が、元氣よく歌や劇の発表にがんばってくれました。また、各クラブの方々の上手な発表



を観覧させて頂きました。私も司会者の一人として参加させて頂いたのですが、マイクの音が入っていません

かったり、幕と幕の間の時間が長くなったり、ステージの上を走り回って、見ている方々にも大変申しわけなかったと思っております。来年は、見る側で発表を楽しみたいと思っております。

(銅 範子記)

児童クラブ クリスマス会

十二月十一日、児童クラブのクリスマス会が行われました。

子どもたちが各自持ち寄った手作りの飾りで華やかなツリーが出来上がった後、公民館前で花壇の球根を植え、ドッジボール大会を行いました。

学校とは違った学年合同のチーム対戦となり、熱戦がくり広げられ、心地よい汗を流しました。

そして、ツリーを囲んで皆でクリスマスソングを歌う中、サンタさんが登場。プレゼントを頂き、一足早いクリスマスを楽しみました。

(山本良子記)



地区ビーチボール大会

恒例の地区ビーチボール大会が、十一月三十日より、一週間かけて行われました。十六回目を迎えて、益々充実した大会になるよう期待しております。成績は左記の通りです。

- 優勝 沖 B チーム
- 次勝 沖 D チーム
- 参勝 沖 E チーム

新年の集い



西暦二〇〇〇年記念すべき年始の「新年の集い」が一月四日当公民館で開催されました。

前川正男自治振興会長、朝倉一夫公民館長の挨拶で開会し、清都邦夫井波町長、山田富雄井波町議長の祝辞のあと綿貫後援会長藤井潔さんの乾杯の音頭で開宴し、九十名近くの参加者が新年を祝い歓談されました。

(前川哲郎記)

百歳を迎えて

武田久太郎



私は明治三十一年、西暦一九〇一年に生まれ、今年百歳を迎え

まちづくりを語る会

十月二十八日(木) 晚七時三十分より南山見公民館において、清都町長、助役、収入役、ならびに地元町議を囲んで恒例の「まちづくりを語る会」が自治振興会、公民館共催で



ました。

いかにご神仏のご加護とは申しませんが、誠にありがたいことです。

その間、若い人に囲まれたり、恩情豊かな友人や、賢明な先輩各位のご指導に預かりこの世を過ごして参りました。誠にありがたい心から感謝申し上げます。

盛会裡に開催されました。

はじめに町長から当面の町政指針などの説明があり、参会者から熱心な質問や提言がなされました。

概要は次の通り。

- 一 企業誘致と住宅整備問題について
- 一 地域の特産品育成支援について
- 一 未舗装農道の整備促進について
- 一 林業の作業道開設問題について
- 一 不動滝の周辺整備とゴミ不法投棄

追 十一月九日(火) 射水郡公民館連合会三十名の皆様が視察に来館され、歓迎の事務局と熱心な交流がなされた。

受賞のよろこび

平成十一年度井波町表彰
産業経済功勞

山崎 昭 男 さん

青少年育成県民会議会長表彰

亀田 博 信 さん

第20回記念富山県女性美術展
書の部 優秀賞

箭原 紅 城 さん

防止について

一 介護保険制度ならびに福祉施設運営について

一 児童公園の設置並びに南山見保育所の早期改修について

一 井波の自然を利用したスポーツ施設の設置・導入(ハンングライダー)

一 旧町営住宅の整備・主要交差点の街灯設置・観光産業への積極的取り組みについて

(朝倉記)

御 寄 附

一、金二万円也

女性セミナー様

一、アルミ製脚立

山口賢治様

2月行事のお知らせ

2月7日 午後7時30分より
公民講座
県講 河合常則 先生

2月20日 午前九時より
第11回 三世代交流の集い
皆様多数のご来館をお待ちしています。

成人おめでとうございます



今年は成人の日が十日に変わったことに合わせて、井波町の成人式も、一月十日に井波町文化センターにおいて、華やかに行われました。

来賓の祝辞のあと、当地区より山本大輔君が、はたちの主張で「これからの農業を考える」と題して、大学を卒業後地元に戻り、会社勤めと共に農業も手伝うと力強く主張されました。なお、今年度も公民館より成人された方々にお祝いの辞典をお贈りいたしました。(事務局記)

- 新成人のみなさん
- 院瀬見第一 高橋美恵 山崎さつき
 - 院瀬見第三 田村知子 田中誠一
 - 院瀬見第四 山崎雄一郎
 - 清玄寺 山本由香
 - 連代寺 山本由香
 - 志観寺 山本由香
 - 戸谷寺 山本由香
 - 川原板 山本由香
 - 南山見団地 山本大輔
 - 小坂舞
 - 前田幸子
 - 小橋涼二
 - 前田幸子
 - 小橋涼二
 - 松倉佳代
 - 前田幸子
 - 前田幸子
 - 松倉佳代
 - 小橋涼二
 - 前田幸子
 - 小橋涼二

これからの農業を考える

山本大輔

井波町はとても素晴らしい町です。それは人の情けがあり、自然が豊かで景観もきれいだからです。私は、ふるさと井波町を離れて大学生活を送るようになって強くそう感じるようになりました。

私の家は、散居村の中にあり、周りには田んぼが広がっていて目の前には、八乙女山が見えます。この風景は見慣れていますが、何となく落ちつきます。

私は今まで稲作の仕事の手伝いをすることが面倒だと思っていました。ゴールデンウィークの期間中は田植があり、秋は稲刈りをしなければならぬからです。友達達は遊んでいるというのに、なぜ私がかんなことをしなければならぬのかといつも感じていました。

けれども、毎日私がかんご飯を食べていられるのは私の家のような農家が米を作っているおかげだと気づきました。父をはじめ、忙しいとき

は家族みんなで協力して農作業をします。私には、これが家族みんなとのふれあいになりました。

今、私も含め、みんなが当たり前のように食べているご飯が食べられなくなったらどうでしょう。これは私の家だけの問題ではなく、だんだんと高齢化が進み、お米を作る農家の数が減って農業を営む若い人が少なくなっている現在、深刻な問題になるのではないのでしょうか。お米を作るのは確かに大変な仕事ですが、秋にたわわに実った稲穂を取獲することの喜びは大きく、やりがいのある仕事でもあります。だから私は、これからも家族と一緒に農業をやっていきたいと考えています。

そこで、農業についての一つの提案があります。大学を卒業したら、大学で学んだことを生かせるような地元の会社で働きたいですが、その一方で農業を続けていきたいです。会社勤めと農業の両立は今の社会の仕組みの中ではなかなか大変だと思います。だから、やる気のある若い人が農業をしやすい社会的環境を整えて欲しいです。そうでもしないと若

い人がどんどん農業から離れていってしまいう傾向が変わらないような気がしています。

また、これまで農業などを通して社会を支えてきてくれたお年寄りの人達が、いつまでも健康で幸せに暮らしていけるように、福祉が更に充実した住み良い町になればと願っています。老人福祉の問題は、これから介護保険制度などが導入されるにあたり、ますます考えていかなくてはいけない問題だと思います。

私達若い世代もお年寄りの人達もすべての人が生きがいをもって明るく生きていけるような、そんな井波町になったらいいです。これからは、自分の行動に責任をもって生活していきたいです。

編集後記

コンピュータの二〇〇〇年問題も、大きなトラブルもなく乗り越え、幕を開けたミレニアム。この節目の年、地区の皆様にとりまして飛躍の年になりますように願っております。本年も公民館活動に一層のお力添えをいただきますようお願い致します。
(前川昭子記)